

愛知県公立大学法人の第三期中期目標期間における業務実績に関する評価結果の概要

全体評価

中期目標の達成状況が良好であると認められる。

項目別評価

大項目	※(1) 小項目	低い ← 評価 → 高い				評価 ※(2)
		I	II	III	IV	
①教育研究等の質の向上に関する項目	45			35	10	A
②業務運営の改善及び効率化に関する項目	9			8	1	A
③財務内容の改善に関する項目	2			2		A
④教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する項目	2			2		A
⑤その他業務運営に関する項目	4			4		A

- ※(1) 小項目評価区分
I：中期計画を実施していない。 II：中期計画を十分には実施していない。
III：中期計画を十分に実施している。 IV：中期計画を上回って実施している。
- ※(2) 大項目評価区分
S：中期目標の達成状況が非常に優れている。(特に認める場合)
A：中期目標の達成状況が良好である。(すべてⅢ～Ⅳ)
B：中期目標の達成状況がおおむね良好である。(Ⅲ～Ⅳが9割以上)
C：中期目標の達成状況が不十分である。(Ⅲ～Ⅳが9割未満)
D：中期目標の達成のためには重大な改善事項がある。(特に認める場合)

評価に当たっての意見、指摘等

- ・第三期中期目標期間の6年間において、当初は想定しえなかった新型コロナウイルス感染症などの影響を受ける中、社会情勢の変化に応じて様々な取組の工夫を重ね、中期計画を推進してきたことは評価できる。
- ・愛知県立大学では、新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」による全学部・複数学部連携型授業の推進や、地域課題の解決に貢献する特色あるコース「コミュニティ通訳学コース」の大学院における開設、愛知県立芸術大学では、領域を超えた合同授業及び文化財保存修復研究所の活動などを通じた特色ある学部教育の推進や、教員の芸術活動などによる地域貢献や他機関との連携の取組、法人運営では、2大学が連携した教養科目開講の決定や、愛知県との共催によるスタートアップ国際シンポジウム開催など、様々な連携による大学の魅力づくりの推進等を特に評価する。
- ・第三期の成果をもとに、第四期においては、地域社会のニーズに応えるため、これまで以上の地域連携・貢献に取り組むとともに、情報発信を戦略的に行い、法人及び2大学の社会的存在感及び信頼感を一層向上させることを期待する。

評価委員会が高く評価した項目（小項目）

- ① 教育研究等の質の向上に関する項目
（県立大学）
- 新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」による教育を実施
 - 専門教育における効果的な教育カリキュラムへの見直し
 - 大学院教育におけるコース、カリキュラムの見直し
 - 学部・研究科横断型の学際的研究や、産業界・地域社会等との連携による高度で挑戦的な研究を積極的に推進
 - 県等との意見交換会を通して、地域課題への対応に向けた取組の推進
- （芸術大学）
- 実技力と芸術性をもつ人材の育成に向けた魅力ある学部教育の推進
 - 学生の将来目標・設計を啓発し、専門を生かせるキャリア支援を推進
 - 教員の芸術活動・研究の推進とその成果の地域還元
 - 研究支援体制の整備、企業等との連携強化、外部資金の獲得増に向けた取組
 - 愛知県や他の自治体、他大学、産業界、文化施設等との多様な連携を推進
- ②業務運営の改善及び効率化に関する項目
（法人運営）
- 様々な連携による大学の魅力づくりの推進